

# NEWS

## 第18回産業廃棄物と環境を考える全国大会 近藤千雅副会長が環境大臣表彰を受賞

- ・日 時：11月15日（金）午後1時30分
- ・場 所：ホテルオークラ神戸

「第18回産業廃棄物と環境を考える全国大会」において、「環境大臣表彰式」が開催され、式典では、副会長近藤千雅氏／中部保全（株）他が表彰されました。

“資源循環”をテーマに掲げ、循環型社会の形成や低炭素社会の実現を図るため、産業廃棄物業界は近年、廃棄物の適正処理によって培った技術・経験を活かしつつ、新たに廃棄物から資源・エネルギーを創り出す事業に取り組む業者が増加するようになりました。

今回の全国大会の基調講演は上智大学法科大学院教授 北村喜宣氏による「廃掃法施行50年の振り返りと今後の展望」、パネル討論会「廃プラ輸出からの脱却」と題して、コーディネーターに東浦知

哉氏（（一社）兵庫県産業資源循環協会会長）、パネリストに成田浩司氏（環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課長）、石岡之俊氏（兵庫県農政環境部環境管理局環境整備課長）、泥 俊和氏（（株）神戸製鋼所環境防災部長）、中村龍男氏（大栄環境（株）事業本部副本部長）、森谷 賢氏（（公社）全国産業資源循環連合会専務理事）らによって、昨今大きな関心を集めている廃プラ問題について討論されました。

